

年収約400万円の
家計に例えると…

5万人の台所事情

亀山家(市)の家計簿

令和元年度の一般会計決算を、約400万円の家計に例えてみました。
市にはさまざまな種類の収入と支出があり、一般の家庭とは少し違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

収入		平成30年度からの増減	支出		平成30年度からの増減
現金収入合計	374万円	(+9万円)	生活費用合計	296万円	(+3万円)
給料(基本給)	212万円	(-13万円)	食費	65万円	(+2万円)
▶ 市税、分担金および負担金			▶ 人件費		
給料(諸手当)	63万円	(+2万円)	医療費	75万円	(+3万円)
▶ 地方交付税、譲与税・交付金等			▶ 扶助費		
パート収入	15万円	(+2万円)	光熱水費などの雑費	99万円	(+6万円)
▶ 諸収入、使用料・手数料			▶ 物件費、補助費等		
親からの援助	84万円	(+18万円)	車などの修理代	12万円	(+1万円)
▶ 国庫支出金、県支出金			▶ 維持修繕費		
ローン(借入金)	30万円	(-6万円)	教育費	45万円	(-9万円)
▶ 市債			子どもへの仕送り	36万円	(-1万円)
貯金の取り崩し	16万円	(-3万円)	▶ 繰出金		
▶ 繰入金			ローンの返済	37万円	(-7万円)
繰越金	14万円	(+3万円)	▶ 公債費		
▶ 繰越金			家や庭の建築・改修	46万円	(+20万円)
			▶ 普通建設事業費、災害復旧費		
			貸付など	2万円	(-2万円)
			▶ 貸付金、投資および出資金		
			貯金など	2万円	(0円)
			▶ 積立金、予備費		
収入合計	434万円	(+3万円)	支出合計	419万円	(+13万円)
			余り	15万円	(+3万円)
貯金残高	148万円	(-8万円)	ローン残高	313万円	(-5万円)

令和元年度の家計は…

生活費の節約に努めましたが、給料(基本給)が減ったため、親から多くの援助をもらって家計をやりくりしました。なお、ローンの借り入れや貯金の取り崩しを控え、将来の家計への負担を減らす努力もしました。

しかし、家計に占める割合が大きい医療費や光熱水費などの雑費は年々増加傾向にあるほか、家や庭の老朽化に伴う改築や改修にかかる支出が大きく増えました。また、ローンの残高は年々減っているものの、今後も返済が必要になります。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今後も厳しい状況が続くなか、引き続き節電や節水に努めるほか、その他の出費についても無駄がないか見直したり、改修時期や規模を見直したりして家計のやりくりに努めます。また、ローンの借り入れや貯金の取り崩しを最小限にとどめるなど、家計の安定を図っていきます。



令和元年度つうしんば
わかりやすい決算書

発行：亀山市 編集：総合政策部政策課広報秘書グループ
〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 TEL 0595-82-1111(代) FAX 0595-82-9955 ホームページ <https://www.city.kameyama.mie.jp>
広報かめやまは、古紙パルプ配合率80%、白色度80%の再生紙および植物油インキを使用しています。